

学校評議員・学校関係者評価委員会の報告

1 開催月日

第1回：平成 20年10月 9日（木） 第2回：平成 21年 2月 9日（月）

2 学校評議員に意見を求めた主な事項

- ・本年度の教育活動、教育計画についての説明及び年間の行事への協力要請。
- ・児童の学力の向上や規範意識の定着について。
- ・平成20年度耐震工事について。
- ・「教育活動アンケートの結果」について。
- ・学校評価自己評価分析における課題面での改善策。

3 学校評議員からの主な意見・助言等

<基礎学力の向上について>

- ・今年度始めた週1日のドリル学習の取組で成果が出ているのか。成果を上げるには週2日～3日は必要ではないか。（読書活動とのかね合いで難しさもあるだろうが…）
- ・学習習慣の形成と同時に基礎的な学習が大切であるという意識そのものを高めたい。
- ・「家庭学習カード」の活用は、家庭学習の習慣化を図る上でよい取組である。

<夏の勉強コーナーについて>

- ・夏休みに入ってから「ゆっくり学習コーナー」の設定は価値ある取組である。今後、先生方の負担にならないよう拡大を図っていったらどうか。

<規範意識の向上について>

- ・子どもたちには、まず普通の常識を心得てもらいたい。
- ・家庭と学校の役割をしっかりと分けることが必要である。
- ・最低限のモラルとして「人に迷惑をかけない。」ということを指導していきたい。
- ・地域での声かけ運動等をとおして、子どもへのかかわりを深めることが大切である。

<読書習慣の形成について>

- ・学年の課題図書や特選100冊などの本を紹介したらどうか。
- ・蔵書数は十分とはいえない状況である。学級文庫も充実させたい。
- ・担任のお薦め100冊などを紹介してみてもどうか。
- ・どういう本をそろえるか、予算面でも課題がある。教育振興会を活用できないか。

<教育活動アンケートについて>

- ・基本的な生活習慣は大切である。
- ・本来、親がやるべき事を学校に求めている。
- ・読書や読み聞かせは大切であるが、学力の向上や遊びも大切である。
- ・防犯については、スクールガードの増員や連絡網の整備が必要である。
- ・地域の人材を積極的に活用し、学習効果を高めているといえる。
- ・持久走のやり方で、同じ距離を走らせて順位が分かるようにしてほしいとの意見もあるが、大多数の保護者は同じ時間を走る今のやり方のよさを理解している。

4 今年度の成果等

第1回の学校評議員会では、学校の経営方針や行事、学力向上、規範意識の定着について意見を伺った。第2回では、学校評価の分析を受けて、来年度に向けて貴重なご意見を伺うことができた。基礎学力の向上については、本年度実施した週1日の「基礎学力の日」を見直し、次年度は10分の帯時間で日課の中に組み込む方向で考える。規範意識の向上については、学校、保護者、地域の連携をいっそう密にする中で、着実な向上を図りたい。その他の意見についても、今後の本校の教育活動に生かしていきたい。